

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象(実施を想定する学校・児童生徒の実態の概要)

担任をする中学2年生の学級で授業を行う。グループで会話をしたり、わからないところを級友に聞いたりしながら授業に取り組める生徒が多い。一方で、人前で話すことが苦手な生徒もいる。今年度に入り、プレゼンテーションの授業で、資料の効果的な示し方やどうしたら相手に自分の考えが伝わる話し方になるか考える学習した。まだまだ相手を意識した話し方は身に付いていないため、今回の討論を通して、話し手も聞き手も育てる授業を構想したい。

2. 単元名「 論理を捉えて ～立場を尊重して討論会をしよう～ 」(全9時間)

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	意見と根拠など、情報と情報との関係について理解することができる。
思考力, 判断力, 表現力等	互いの立場や考えを尊重し合いながら話し合い、結論を導き出すために考えをまとめることができる。
学びに向かう力, 人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

4. 本時の目標

対話ゲームを通して、上手な話し方と聞き方を知り、「話すこと・聞くこと」の学習のおもしろさを考えることができる。

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い

- ①「話し合いの達人」はどんなことができる人だと思いますか？
- ②「話し上手」「聞き上手」のポイントはなんだろう。

考えるための材料

・対話ゲームを行う。

想定される活動

聞き手が一生懸命話を聞いて相手を見ていたり、言いたいことを伝える順序を考えたりすることが大切だとアドバイスをしている。

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

○3人か4人のグループで活動する。個で考える時間も大切にしながら、様子を見てグループでの活動時間を設定する。わからないことや気付いたことが伝えやすい雰囲気づくりを行う。

- ① ・人の話をよく聞いてから自分の意見を言える人じゃない？
 - ・自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を聞いてグループの意見をまとめる人はすごいと思う。
- ② ・話し上手な人って、相手の反応を良く見ているよね。
 - ・お互いの意見を大事にする人は話し上手であり、聞き上手でもある気がする。

学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

- ①話し合いの達人は、相手の立場を考えていたり、自分の意見を伝えるときに根拠がはっきりしていたりする人である。
- ②「話し上手」のポイントは、相手の立場を考えて発言すること、意見を伝えるときには根拠も伝えることである。「聞き上手」のポイントは、相手が伝えたいことを考えながら聞き、受け入れることである。これからの授業で話し合いをするときは、相手を意識して話したり、メモをとりながら話を聞いたりしたいと思った。